



板橋区景観賞 受賞

景観形成重点地区を踏まえて地域
住民とともに緑をつくった事例

東洋インキ S C ホールディングス十条センター

東洋インキ SC ホールディングス株式会社／前田建設工業株式会社

所在地：板橋区加賀 1-22-1

竣工：2013 年 9 月

1954 年（昭和 29 年）に開業した十条工場跡地に建設された東洋インキ S C ホールディングス十条センターである。

建設地は、江戸時代に加賀藩の下屋敷があったことから、大規模な敷地に医療、文教、研究施設や共同住宅が立地する加賀一・二丁目地区計画区域内にあたる。

敷地の前面道路では、建物をセットバックし、自主管理歩道や緑地帯など、緑のオープンスペースを設けることで、周辺の街並みへの圧迫感を軽減しながら、周辺景観に調和した緑化空間を創出している。

この緑化空間には、高・中・低木や地被以外にも、彩り豊かな花が植えられており、歩行者が目で見えて楽しい空間づくりがなされている。これらの植栽の維持管理にも、自治会と協力しながら積極的に取り組んでおり、花壇設置や環境美化活動を通じた地域貢献に対し、区から町の団体功労者として表彰されている。また、敷地の入口には、シンボルツリーとしてしだれ桜を採用することで、地域の重要な景観資源である石神井川の桜並木を連想させる工夫が施されている。

建物の外観はグレー系の色彩を基調とした事務所ビルらしいすっきりとしたデザインを採用し、サイン計画もシンプルで効果的なデザインを取り入れている。